



ACS 3.x および 4.x と ACS 5.3 の機能比較

表 C-1 機能比較リスト : ACS 3.x/4.x と ACS 5.3

機能	ACS 3.x と 4.x	ACS 5.3	注釈
プラットフォーム サポート			
1111	Yes	No	
1112	Yes	No	
1113	Yes	No	
1120	○ (4.2)	Yes	ACS 5.0 出荷アプライアンス
1121	No	Yes	ACS 5.3 出荷アプライアンス
Windows Server	Yes	No	
仮想マシン	ESX 3.x	ESX 3.x/4.0	
コンポーネント			
ACS for Windows	Yes	No	ACS 5.3 では Windows Server はサポート対象外です
ACS Solution Engine	Yes	No	ACS 5.3 固有のアプライアンスオプションを提供します
ACS View 4.0	Yes	No	ACS 5.3 では表示機能を統合しました
ACS Remote Agent	Yes	No	5.3 では Remote Agent は必要ありません
ACS Express 5.0	No	No	
アプリケーション統合			
CiscoWorks Common Service (CSM/LMS 用)	Yes	No	
Cisco Wireless Control System (WCS)	Yes	Yes	
分散モデル			
単一プライマリ / 複数セカンダリ	Yes	Yes	
カスケード複製	Yes	No	
レプリケーション トリガー	手動またはスケジュールごと	設定変更時	

表 C-1 機能比較リスト : ACS 3.x/4.x と ACS 5.3 (続き)

機能	ACS 3.x と 4.x	ACS 5.3	注釈
レプリケーション ユニット	レプリケーション コンポーネン ト全体	delta 設定のみ	
同期	ゆるい	きつい	
自動停止再同期	No	Yes	
内部ユーザのパスワード更新	プライマリのみ	すべてのサー バ	
ロールベースのセカンダリをプ ライマリに昇格	No	Yes	
ID ストア サポート			
内部	Yes	Yes	
Active Directory	Yes	Yes	
LDAP	Yes	Yes	
RDBMS	Yes	No	
RSA SecurID	Yes	Yes	
その他のワンタイム パスワー ド サーバ	Yes	Yes	OTP サーバに RADIUS イン ターフェイスを使用
AAA プロキシ サポート			
RADIUS プロキシ	Yes	Yes	EAP プロキシを含む
TACACS+ プロキシ	Yes	Yes	
ロギングの宛先			
ACS View	Yes	Yes	
Syslog	Yes	Yes	
ODBC	Yes	No	ACS 5.3 は、View のログ データ を外部データベースと同期して 保存することができます。
クエリー/プロビジョニングの設定			
Web ベースの GUI	Yes	Yes	
CSV ベースの更新	Yes	Yes	
CSUtil	Yes	No	
RDBMS 同期化	Yes	No	
管理			
SNMP クエリー	○ (アプライア ンスのみ)	Yes	
SNMP トラップ	No	No	
アラーム表示	Yes	Yes	
GUI	Yes	Yes	
Cisco 標準のロック アンド フィールド GUI	No	Yes	
CLI	○ (アプライア ンスのみに制限)	○ (IOS と同 様)	

表 C-1 機能比較リスト : ACS 3.x/4.x と ACS 5.3 (続き)

機能	ACS 3.x と 4.x	ACS 5.3	注釈
一部の設定を変更するとシステムが再起動します	Yes	No	
KVM コンソール アクセス	No	Yes	
ファイル転送ストレージ リポジトリの選択	No	Yes	
配置済みの、バージョンをまたぐアップグレードの手順	No	Yes	
リモート アップグレード/パッチ実行	部分的	Yes	
パスワード認証			
PAP	Yes	Yes	
CHAP	Yes	Yes	
MS-CHAPv1	Yes	Yes	
MS-CHAPv2	Yes	Yes	
EAP-MD5	Yes	Yes	
EAP-TLS	Yes	Yes	
PEAP-MSCHAPv2	Yes	Yes	
PEAP-GTC	Yes	Yes	
PEAP-TLS	Yes	No	
FAST-MSCHAPv2	Yes	Yes	
FAST-GTC	Yes	Yes	
FAST-TLS	Yes	No	
LEAP	Yes	Yes	
TACACS+			
コマンド認可	Yes	Yes	
アカウントिंग	Yes	Yes	
単一接続	Yes	Yes	
パスワードの変更	Yes	Yes	
イネーブル処理	Yes	Yes	
カスタム サービス	Yes	Yes	
任意の属性	Yes	Yes	
CHAP/MSCHAP 認証	Yes	No	
属性の置換	Yes	No	
ACS パスワード ポリシー			
複雑度	Yes	○ (強力)	
履歴	○ (最後ののみ)	○ (複数)	
有効期限	○ (日付、ログイン、最初のログインごと)	○ (日付順)	
有効期限の警告	Yes	Yes	

表 C-1 機能比較リスト : ACS 3.x/4.x と ACS 5.3 (続き)

機能	ACS 3.x と 4.x	ACS 5.3	注釈
猶予期間	Yes	No	
アカウントのディセーブル化			
日付による	Yes	No	認可ポリシーを使用して実装できます
失敗した試行による	Yes	No	
非アクティブによる	No	No	
ネットワーク デバイス			
各 TACACS+/RADIUS エントリ	Yes	No	
階層型のスケーラブルなデバイスのグループ化	No	Yes	
デフォルト ネットワーク デバイス	TACACS+ のみ	RADIUS および TACACS+	
グループ レベルの共有秘密	Yes	No	
IP アドレスのワイルドカード	Yes	○ (マスクベースのみ)	
アクセス ポリシー			
柔軟な、規則ベースのポリシーモデル	No	Yes	
必須 ACS グループ割り当て	Yes	No	
複数のグループ メンバシップ	No	Yes	
静的 IP アドレス割り当て	Yes	Yes	拡張スキーマ、ポリシー
最大セッション数	Yes	No	
グループのディセーブル化	Yes	Yes	ACS 5.3 ポリシーに実装
VOIP サポート	Yes	No	
ToD 設定	Yes	Yes	
コールバック	Yes	Yes	Windows のコールバック設定は ACS 5.3 では使用できません
ネットワーク アクセス制限	Yes	Yes	
クォータの使用状況	Yes	No	
オプションをイネーブルにする	Yes	Yes	ACS 5 ポリシーに実装
トークンのキャッシング	Yes	No	

表 C-1 機能比較リスト : ACS 3.x/4.x と ACS 5.3 (続き)

機能	ACS 3.x と 4.x	ACS 5.3	注釈
IP アドレスの割り当て	Yes	○ (スタティックおよび AAA クライアントプールのみ)	スタティック IP アドレスの割り当ての場合、IP アドレスフィールドをユーザスキーマに追加することで認可ポリシーに実装します。 AAA クライアントプールとは、ACS で VSA 属性「ip-pool-definition」を設定する機能のことです。プール自体はスイッチまたはルータ自体で定義されます。
ダウンロード可能 ACL	Yes	Yes	
ユーザの補足情報	Yes	Yes	
ポリシーの条件の使用および値の認証のための拡張 ACS ユーザスキーマ	No	Yes	
ポリシーの条件や値の認証として利用可能なユーザ属性 (内部、AD、LDAP)	No	Yes	
ACS 内部ユーザの拡張パスワード認証	Yes	Yes	ACS 5 では、パスワードの格納はアクセス サービス ID ポリシーで指定する必要があり、ユーザのレコードでは指定できません。
時間をバインドする別のグループ	Yes	Yes	ACS 5 では、その日の時間に基づいてさまざまな権限を指定する場合に、時間ベースの条件を使用します。
Windows ダイアルイン サポート	Yes	No	
ACS 管理者			
ネットワークの制限	Yes	Yes	
権限付与レポート	Yes	Yes	
パスワードの複雑度	Yes	○ (強力)	
パスワードエージング	Yes	Yes	
パスワード履歴	Yes	Yes	
パスワードは非アクティブ	Yes	Yes	
失敗した試行によるアカウントのディセーブル化	Yes	Yes	
非アクティブなアカウントによるアカウントのディセーブル化	Yes	Yes	
権限コントロール	Yes	○ (ロールベース)	

表 C-1 機能比較リスト : ACS 3.x/4.x と ACS 5.3 (続き)

機能	ACS 3.x と 4.x	ACS 5.3	注釈
証明書ベースの認証/許可			
必須 AD 許可	Yes	No	
SAN/CN 比較	Yes	No	ユーザ属性の存在を確認することで ACS 5.3 に間接的に実装できます
証明書のバイナリ比較	Yes	Yes	